

2006年3月25日(土)
～6月11日(日)

戦争の記憶

—2000年の歴史—

戦後60年、戦争の歴史
をふり返ってみると…



柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日 開館時間 9時30分～16時30分

入館料 無料 交通 JR大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

大阪府柏原市高井田1598-1

TEL0729-76-3430

太平洋戦争（第二次世界大戦）が終わってから60年の時が流れた。この戦争によって、わたしたちは戦争の悲惨さを思い知らされた。この展示では、日本における2,000年にわたる戦争の歴史をふり返り、わたしたちの郷土が、どのように戦争と関わってきたのかについて考えてみたい。そこから、わたしたちがどうすればいいのかを考えていただければ幸いである。

日本では**弥生時代**から戦争が始まったと考えられる。環濠集落や高地性集落のように、守りを固めたムラが生まれる。柏原でも玉手山遺跡や高尾山遺跡が高地性集落として知られている。

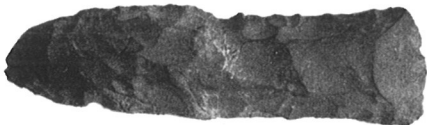
古墳時代になると、鉄製の武器や武具が普及する。柏原の古墳からも、多数の武器などが出土している。強力な軍団が組織されていたのではないかと考えられている。

おおあまのおうじ 大海人皇子と じんしん 大友皇子による **壬申の乱** でも、柏原周辺で戦いがくり広げられた。大海人方の さかもとのおみたち 坂本臣財らは、高安城から石川のほとりに出撃し、敗れて竜田道を大和へ退却している。

戦国時代には きざわながまさ 木沢長政と ゆさながのり 遊佐長教のあいだで **太平寺の戦い** が行われた。敗れた たいへいじ 木沢長政は、この地で討ち死にし、その墓と伝えられる五輪塔が今も安堂墓地に残されている。

大坂夏の陣 でも、後藤基次ら豊臣方と徳川方とのあいだで、玉手山周辺で戦いがくり広げられた。激しい攻防の結果、ごとうもつぐ 後藤基次は討ち死に、大坂城陥落によって豊臣方は敗北する。

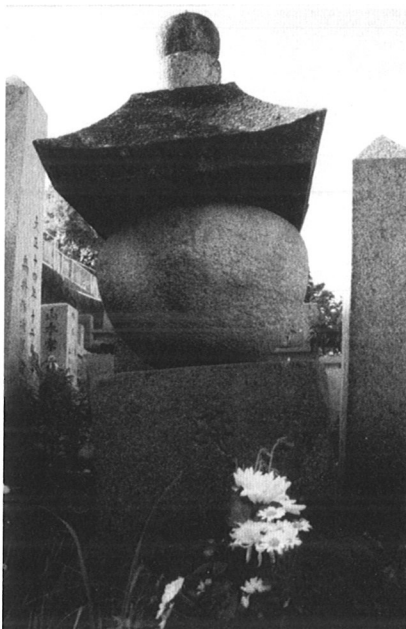
日清・日露戦争 を経て軍国主義への道を突き進むことになった日本は、**太平洋戦争** で多くの人が亡くなり、苦しい生活をしいられることになった。戦後、復興をとげたとはいえ、わたしたちは二度と戦争をおこしてはならないことを深く学んだはずである。



せつけん **石剣** (弥生時代・大泉遺跡出土)



てつとう **鉄刀** (古墳時代・太平寺5-2号墳出土)



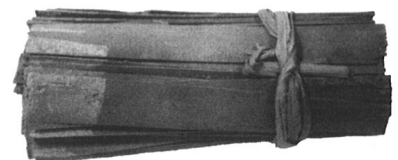
きざわながまさ ごりんとう あんどうぼち
木沢長政の五輪塔 (安堂墓地)



おおさかなつ じんせんぼつしゃくよう
大坂夏の陣戦没者供養の
ほうきょういんとう たまたやま
宝篋印塔 (玉手山公園)



軍隊手帳



代用マッチ